

前橋シネマハウス
館長レコメンド

イエで見るとべき3本はこれだ

1

コンテイジョン

監督: スティーブン・ソダーバーグ
出演: マット・ディモン / ジュード・ロウほか

このご時世度



教訓度

家にいよう度

「パニックはウイルスよりも深刻だ」
今を“予言”していた映画。



映画「コンテイジョン」はその意味“感染”の通り、地球規模で新型ウイルスが感染拡大していく恐怖を描いたサスペンス大作。現在の世界が置かれているコロナウイルスの影響を予測していたような映画で、当時の僕は飛躍しすぎて現実味が無いしそれほど面白くは無いと思っていたが、今だからこそ観た方が良いと思います。その後の世界を予測したかのような映画はたくさんあります。その当時は「ありえない！」と批判されても必要になる時がくるものです。そう考えると映画から学ぶことは多いと実感してもらえるかもしれません。

日本のネズミもかわいいぞ。
子供と一緒に冒険の旅へ！

認知症を明るく切り取る。
疲れる日々にも優しさを。

2

ガンバとカワウソの冒険

監督: 大賀俊二
声の出演: 野沢雅子ほか

子供と楽しむ度



意外に敵が怖い度

伝説アニメ度

シリーズの完結作として製作された長編アニメーション映画。シリーズの醍醐味は、個性豊かな6匹のネズミたちが面白いことに加え、敵である野生動物がめちゃくちゃ怖いこと！僕も子どもの時は劇場の椅子に隠れて見ていましたね。そんな衝撃的な記憶が大人になった今でも環境問題、命の大切さを考えるきっかけになっている気がします。

3

ペコロスの母に会いに行く

監督: 斎藤寅次郎
出演: 赤木春恵 / 加藤高 ほか

人にやさしく度



涙を流す度

考えさせられる度

漫画家・岡野鐘一さんが認知症になった母との生活を描いた実話。認知症といったら暗いイメージがありますよね。でも本作は認知症になっても、人間の尊厳を失わず楽しく生きた家族の物語。お母さんの可愛らしさに笑いが止まりません！「ボケることも悪いことばかりじゃなかと」という長崎井が忘れられない作品になるでしょう。

前橋シネマハウスからのお知らせ

いつも前橋シネマハウスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大状況と、群馬県からの外出自粛要請で随分、検討した結果、当面の間臨時休館とさせていただきます。営業再開に関しましては、決まり次第、当館HPやSNSにてお知らせいたします。

劇場が再開できたとき、映画館で映画を観れるときがきたら、「映画があつてよかった、映画館で観れてよかった」と、みんなで喜びを噛み締めましょう。また、再開できるよう努めます。全国のミニシアターの灯が消えないことを祈っております。今後とも前橋シネマハウスを宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルスで打撃を受けているミニシアターを支援するためのプロジェクトへ参加中です。よろしければご協力をお願いいたします。

『ミニシアター・エイド基金』 <https://motion-gallery.net/projects/minitheateraid/collectors>

インドカレー イシイ

Indian Curry Ishii

SHOP

インドカレーイシイ

店主

石井 潤

(いしい じゅん)

コペルニクスの
ストイック

カレーマスター



鶏肉たっぷりのカレーはテイクアウト可。 昼休みのアチャール(インドの漬物)も
まちなか亭にかけ新メニューも開発中。 人気。たが玉ねぎもがナス。

前橋市城東町3-6-16宮崎ビル1F 090-5532-7600
12:00-14:30/18:00-21:00(全曜・土曜営業) テイクアウト電話受付11:00-

聞いたことはないだろうか。東京からもカレーマニアの通う名店が、「まちなか」の外れにあるという噂を。噂の店「インドカレーイシイ」は中央前橋駅のすぐそばにひっそりと行んでいる。店主の石井さんは、東京でwebデザイナーなどを経て前橋へやってきた。群馬中の美味しい店を食歩くうちにカレー作りにハマり、本場インドに1ヶ月間のカレーツアーに出たこともあるほど。中でも、首都デリーに実在する伝説のレストラン・カリムホテルのカレーは自身のカレー作りに大きな影響を与えたという。水分を最小限に抑え、全ての素材の旨みを凝縮したルーには、通常のカレーの仕込みの2倍以上時間がかかる。「カレーは僕の作品なんです。食べた人に楽しんで欲しい。そのため食材へのこだわり、かける手間は惜しみません」と、素っ気なく笑う。妥協なきストイックな味作りと、新メニュー開発のために売上外規で週2回営業にする「アナーキーさ」。この店のカレーの最大の隠し味は、店主の個性という名のスパイスなのだ。